

平成 1 9 年度 農作物病虫害発生予察 6 月月報

平成 1 9 年(2007年) 7 月 3 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
6.1	20.4	20.6	△ 0.2	24.2	26.0	△ 1.8	16.9	15.6	1.3
6.2	21.2	21.2	0.0	27.1	26.4	0.7	16.3	16.6	△ 0.3
6.3	21.6	21.8	△ 0.2	25.6	26.6	△ 1.0	17.6	17.5	0.1
6.4	23.4	22.3	1.1	27.5	26.7	0.8	20.0	18.4	1.6
6.5	23.8	22.8	1.0	27.3	26.9	0.4	21.7	19.3	2.4
6.6	26.3	23.4	2.9	31.6	27.5	4.1	22.4	20.1	2.3
平均・計	22.8	22.0	0.8	27.2	26.7	0.5	19.1	17.9	1.2
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	6.1	67	72	△ 5	1.0	28.1	△ 27.1	13.2	31.9
6.2	65	74	△ 9	0.5	34.0	△ 33.5	36.2	29.9	6.3
6.3	70	76	△ 6	23.0	41.3	△ 18.3	24.2	26.7	△ 2.5
6.4	68	78	△ 10	1.5	53.6	△ 52.1	8.0	23.1	△ 15.1
6.5	78	81	△ 3	43.5	69.7	△ 26.2	5.5	20.1	△ 14.6
6.6	69	82	△ 13	8.0	76.3	△ 68.3	28.8	19.8	9.0
平均・計	69	77	△ 8	77.5	303.0	△ 225.5	115.9	151.5	△ 35.6

II 作物の生育状況

- 1 イネ : 5 月上中旬植えの極早生種の生育はやや進み、茎数は平年並みからやや多かった。
- 2 カンキツ : 着果数は平年に比べ多く、果実肥大は平年並みであった。
- 3 ナシ : 果実の肥大は平年に比べ良好であった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 普通作物

2007年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
<p>イネ 葉いもち</p>	<p>1 初発生 補植用苗における発生は認められず(平年初発生6月20日)、平年に比べ遅かった。 本田における発生は認められず(平年初発生6月23日)、平年に比べ遅かった。</p> <p>2 定期巡回調査 (1) 全県における発生 中旬の巡回調査では、葉いもちの発生は認められず平年並みであった。苗いもちの持ち込みは認められなかった。 下旬の巡回調査では、葉いもちの発生ほ場率0%(平年3.1%)、発病株率0%(平年0.7%)、発病度0(平年0.6)で平年に比べ少なかった。また、1000株調査では、発生ほ場率0%(前年0%)、発病株率0%(前年0%)で前年並みであった。補植用苗の残存ほ場率は9.4%(前年17.4%)で前年に比べ少なかった。</p> <p>(2) 中山間地域における発生 6月6半旬の中山間地域(周防山間、長門山間、長門中間30ほ場)における発生ほ場率は0%(苗いもちの持ち込みの多かった1998年と2004年を除く過去18年間の平均は3.7%)で、発生概評は「少」であった(発生ほ場率が1~5番目に高かったほ場を「多」、6~13番目を「平年並」、14~18番目を「少」とした場合)。</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>ばか苗病 萎縮病 縞葉枯病</p>	<p>下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>ツマグロヨコバイ</p>	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.9%(平年3.8%)、10株当たり虫数0.03頭(平年0.05頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5%(平年14.1%)、10株当たり虫数0.08頭(平年0.32頭)で平年に比べやや少なかった。</p>	<p>県内全域</p>	<p>少 2,957</p>

2007年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ ヒメトビウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.6% (平年1.5%)、10株当たり虫数0.01頭(平 年0.01頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年6.5%)、10株当たり虫数0.3頭(平 年0.1頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 3,548
セジロウンカ	5月26日に岩国市玖珂町の予察灯で初確 認(平年5月29日)され、平年並みであっ た。 梅雨前線の発達に伴う下層ジェット気流 の状況と予察灯およびネットトラップの誘殺状 況から、5月26日(少)、6月25日(並)頃に 飛来したと推測された。現在までの主要 な飛来波は6月25日頃と考えられた。 予察灯における誘殺数(4か所、5月11日 ～6月26日合計)は185頭(平年289.6頭) で平年並みであった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年3.1%)、10株当たり虫数0頭(平年0.02 頭)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率37.5% (平年37.4%)、10株当たり虫数0.5頭(平 年1.0頭)で平年並みであった。20回すく い取り調査では、発生ほ場率55.0%(1 ほ場当たり平均1.9頭)で、県内全域に飛 来していることが確認されたが、前年 (発生ほ場率94.9%、1ほ場当たり平均 虫数10.9頭)に比べ少なかった。	県内全域	少 8,870
トビイロウンカ	6月26日時点では飛来は確認されていな い(平年初確認:6月23日)。 予察灯における誘殺数(4か所、5月11 日～6月26日合計)は0頭(平年0.6頭)で 平年並みであった。 中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.3%)、10株当たり虫数0頭(平年 0.001頭)で平年並みであった。20回すく い取り調査では、発生ほ場率0%(1ほ場 当たり平均0頭)で前年並みであった。	—	—

2007年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ コブノメイガ	6月29日に山口市のマレーズトラップで初確認(平年6月23日)され、平年に比べやや遅かった。 6月1日～30日の山口市のマレーズトラップによる誘殺数は、6頭(平年7.6頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年0.7%)、被害株率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	県内全域	—
イチモンジセセリ (イネトムシ)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0%(平年9.9%)、10株当たりつと数0.09(平年0.06)で平年に比べやや多かった。 県予察ほど、6月26日に老令幼虫が確認され、発生時期は平年並みであった。	県内全域	少 3,548
イネミズゾウムシ	予察灯における誘殺数(4か所、4月～5月合計)は9頭(平年595頭)で平年に比べ少なかった。 予察灯における成虫誘殺ピークは、認められなかった(平年成虫誘殺ピーク5月中旬)。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率65.6%(平年57.4%)、被害度10.6(平年7.4)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.8%(平年51.3%)、被害度7.3(平年4.5)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 1,368 中 3,763 <u>少 9,948</u> 計 15,079
イネゾウムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.0%(平年27.7%)、被害株率4.6%(平年2.5%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.8%(平年30.6%)、被害株率4.7%(平年1.9%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 591 中 1,026 <u>少 6,916</u> 計 8,533
フタオビコヤガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.1%)、25株当たり虫数0頭(平年0.001頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.3%)、25株当たり虫数0頭(平年0.005頭)で平年に比べやや少なかった。 岩国市玖珂町及び萩市の予察灯では6月下旬に成虫誘殺最盛期が認められた。	県内全域	—

2007年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)															
イネ イネカラバエ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、被害株率0% (平年0.03%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.2%)、被害株率0% (平年0.12%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—															
ニカメイガ	予察灯による誘殺はなく、平年に比べやや少なかった。なお、発生ピークは明らかでなかった。 各地点の予察灯の誘殺数 (5月1日～6月26日)	—	—															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>昨年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下関</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5.8</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>萩</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8.4</td> <td>やや少</td> </tr> </tbody> </table>	地点	本年 (頭)	昨年 (頭)	平年 (頭)	評価	下関	0	0	5.8	やや少	萩	0	0	8.4	やや少		
地点	本年 (頭)	昨年 (頭)	平年 (頭)	評価														
下関	0	0	5.8	やや少														
萩	0	0	8.4	やや少														
斑点米カメムシ類	予察灯における誘殺数(4か所、5月6半旬～6月5半旬合計)は、アカジガカメムシは188頭(平年39.7頭)で平年に比べ多く、クモリカメムシは0頭(平年0.7頭)で平年並み、アカヒゲホトリカメムシは6頭(平年11.8頭)で平年並みであった。 柳井市、秋穂町の極早期栽培地域のイネ科雑草地における20回すくい取り調査では、アカジガカメムシは31.2頭(平年22.4頭)で平年に比べやや多く、シロホカメムシは1.2頭(平年0.8頭)、ホリカメムシは2.4頭(平年1.8頭)で平年並みであった。 県内各地で6月下旬頃からエノコグサの穂が目立つようになり、クモリカメムシ等の発生源となる雑草地が増加傾向にある。	—	—															
イネクロカメムシ	長門市内の一部のほ場で多発生が確認された。	長門市	—															

2 果樹

2007年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) そうか病	下旬の巡回調査では、発病ほ場率18.2% (平年18.7%)、発病葉率1.4% (平年0.6%)、葉の発病度0.2 (平年0.1)、発病果率0% (平年0.7%)、果実の発病度0 (平年0.2) で、葉における発生はやや多、果実における発生は平年に比べ少なかった。	県内全域	少 322

2007年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平年99.1%)、発病葉率28.3%(平年4 3.8%)、葉の発病度4.4(平年6.7)、発病 果率7.4%(平年7.2%)、果実の発病度1. 2(平年1.1)で、葉における発生はやや 少、果実における発生は平年並みであっ た。	県内全域	中 80 <u>少 1,690</u> 計 1,770
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.7% (平年22.8%)、発病葉率1.0%(平年2.4 %)、発病度0.1(平年0.6)、発病果率0% (平年0.4%)、発病度0(平年0.1)で、葉 における発生は平年並み、果実における 発生は平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 402
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年43.2%)、発病果率1.1%(平年1.4 %)で平年並みであった。	県内全域	中 161 <u>少 724</u> 計 885
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率77.3% (平年59.3%)、寄生葉率12.8%(平年7.9 %)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 80 <u>少 1,207</u> 計 1,287
チャノキアザミマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3% (平年8.6%)、被害果率0.7%(平年0.2 %)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 483
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.5% (平年0.5%)、被害果率0.3%(平年0.2 %)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 80
ミカンナガタマ ムシ	下旬の巡回調査では、下関市吉見のほ場 で成虫の多発生が観察された。	県内全域	—
ナシ (調査ほ場数:10) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率80% (平年79.0%)、発病葉率3.6%(平年2.4 %)、発病新梢率18.6%(平年19.6%)で 平年に比べやや多かった。	県内全域	中 47 <u>少 139</u> 計 186
黒星病 輪紋病 うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生は認められ ず平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年49.0%)、寄生新梢率4.9%(平年 5.1%)で平年並みであった。	県内全域	少 93

2007年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																																			
果樹全般 カメムシ類 (チャバネオカメムシ、 ツヤアオカメムシ、クギ カメムシ)	予察灯(県内6か所、5月6半旬～6月5半旬 合計)における誘殺数は、114頭(平年 138頭)で平年並みであった。優占種はツ ヤアオカメムシであった。 フェロモントラップ(県内4か所)によ るチャバネオカメムシ6月の誘殺数 は、場所によりばらつきがあるが、前年 並みであった。 (参考)6月のチャバネオカメムシフェロモントラップ誘殺数(本年は5半旬までのデータ)	県内全域	—																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2007年</th> <th>2006年</th> <th>2005年</th> <th>2004年</th> <th>2003年</th> <th>2002年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阿東</td> <td>190</td> <td>60</td> <td>15</td> <td>488</td> <td>43</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>秋芳</td> <td>101</td> <td>194</td> <td>10</td> <td>1,505</td> <td>2</td> <td>947</td> </tr> <tr> <td>山口落試※1</td> <td>107</td> <td>253</td> <td>16</td> <td>86</td> <td>23</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>山口農試※2</td> <td>123</td> <td>417</td> <td>-</td> <td>903</td> <td>2</td> <td>471</td> </tr> </tbody> </table>					2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年	阿東	190	60	15	488	43	126	秋芳	101	194	10	1,505	2	947	山口落試※1	107	253	16	86	23	126	山口農試※2	123	417	-	903	2	471
	2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年																																
阿東	190	60	15	488	43	126																																
秋芳	101	194	10	1,505	2	947																																
山口落試※1	107	253	16	86	23	126																																
山口農試※2	123	417	-	903	2	471																																
※1農林総合技術センター落葉果樹試験地 ※2農林総合技術センター本場																																						

注1) 6月下旬の発病果率は、カンキツそうか病、黒点病、かいよう病は過去10年、
灰色かび病は過去7年の平均値を平年値とした。

注2) 6月下旬のナシうどんこ病は過去7年の平均値を平年値とした。

3 野菜

2007年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																								
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる6 月の誘殺数は、248頭(平年234頭)で平年 並みであった。	県内全域	—																								
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる 6月の誘殺数は、255頭(平年342頭)で平 年並みであった。 [参考]フェロモントラップ 6月1～4半旬誘殺数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市周東町</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>少</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>40</td> <td>63</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>40</td> <td>61</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>32</td> <td>47</td> <td>前年より少</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>やや少</td> </tr> </tbody> </table> ※阿東町の平年値は過去9年の平均値。 下関市は前年値。	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価	岩国市周東町	16	25	少	周南市	40	63	やや少	阿東町	40	61	やや少	下関市	32	47	前年より少	萩市	11	15	やや少	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価																								
岩国市周東町	16	25	少																								
周南市	40	63	やや少																								
阿東町	40	61	やや少																								
下関市	32	47	前年より少																								
萩市	11	15	やや少																								

— お問い合わせは山口県病虫害防除所へどうぞ —

電 話	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 0 6
F A X	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 7 1
テレホンサービス	0 8 3 - 9 2 7 - 4 6 4 9

作物	担当者
普通作	野崎 (病害) 中川浩二 (虫害)
野 菜	岡田 (病害) 畑中 (虫害)
果 樹	藤村 (病害) 殿河内 (虫害)